

# 平成27年度 地域ケアプラザ事業報告書

## 1 施設名

新吉田地域ケアプラザ

## 2 事業報告

今年度、地域ケアプラザの管理運営をどのように行なったのか、事業計画書を基に具体的に記載してください。

### 地域の現状と課題について

地区診断書のデータを利用した包括レベルの地域ケア会議を9月に開催し、地域の方々と地域の課題を共有しました。その共有された地域課題のひとつが、第3期地域福祉保健計画の地区別地域福祉保健計画策定会議の中でも取り上げられ、計画書の中にその具体的な取り組みが位置付けられました。

定年退職後の男性を対象とした粋な男の健康講座や男の料理教室等、男性が参加しやすい事業を企画開催して、定員以上の申込者数やそれぞれ事後グループが立ちあがったことから、効果的な取り組みであったとともに、男性住民の関心の高さを感じました。地域の様々な会議や地域の活動に積極的に参加することにより、民生委員等地域で活動されている様々な方からの情報提供やご相談がありました。総合相談件数が、12月頃より増え、月300件以上の様々なご相談があり、支援が必要な方の早期発見にも繋がっていきました。認知症に関するご相談は年々増加傾向にあり、今年度は、協力医とともに老人会や体操会、サロン、介護者のつどい、キャラバンメイトのつどい等、地域に出向いて認知症講座を数多く取り組みました。また、地域の徘徊ネットワーク“さがしてネット”では事務局を担い、模擬訓練を通して地域住民への認知症の理解、普及啓発活動を支援しました。

3月に開催した個別レベルの地域ケア会議には、ご本人、息子さんの他、ケアマネジャー、主治医、ボランティア団体、ボランティア、大型店舗の店員の方々にお集まりいただき、地域の力を改めて心強く感じる、認知症高齢者を地域で支えるための有意義な会議となりました。

### 施設の適正な管理について

#### ア 施設の維持管理について

担当職員及び委託業者により建物・設備等の保守点検を定期的を実施して維持管理に努めました。今年度は給湯ポンプ、消火水槽ポールタップ、エレベーター油圧機構、エントランス外部床タイル、多目的ホール床、音響設備等の交換・修理を実施して、事業執行に支障をきたすような問題はありませんでした。

#### イ 効率的な運営への取組について

各部門が各々に把握した地域課題を共有する場を定期的を持ち、連携することにより地区の活動支援や個別に対して、必要なサービス等を迅速に繋ぐ等の効率的な事業運営を心がけました。地区の連合町内会の会合や民生児童委員協議会、ボランティア団体等地域の様々な会合等に積極的に参加して地区の状況やニーズ把握をすることにより、対象の幅広く相談に応じることが出来ました。

#### ウ 苦情受付体制について

前任者が7月末の退職となり、今年度6月より中西眞砂子（社会福祉士）が苦情受付担当者となる。苦情担当窓口で受付した苦情は0件でしたが、担当ケアマネジャーから当デイサービスの対応についての要望と包括支援センター相談担当職員への要望が2件、合計3件が苦情解決委員会で報告されました。10月には法人全体の施設、事業所が集まり、法人の苦情解決第三者委員に各施設、事業所の苦情及び要望、その対応について報告し、様々な助言がありました。

#### エ 緊急時（防犯・防災・その他）の体制及び対応について

緊急連絡網の見直しを実施及び対応マニュアルを活用して、適切な対応に努めました。6月はデイご利用者及び貸館ご利用者、11月には併設施設との合同では、新羽消防署の職員の立ち会いにより、防災訓練を実施して、水消火器の訓練に多くの職員が参加しました。ケアプラザの閉館時は、併設施設の宿直体制と連携を図り、特に問題なく経過致しました。

#### オ 事故防止への取組について

昨年度のデイサービス事業の送迎車両による人身事故を踏まえて、安全運転に力を入れ、定期的なドライバー会議等の機会を使って、ドライバー自身が、運転慣れが事故を引き起こすという意識を高めることが安全運転に繋がるということを、繰り返し注意喚起しました。しかし、バンパーが凹むなど3件の物損事故がありました。また、デイルーム内でのご利用者の尻もちや封がしてあるご利用明細書2名分が重なって、お渡ししてしまう等5件の事故及びひやりハットがありました。その都度検証し、その対応策を実施しました。貸館事業では、備品などの日々のチェックにより環境整備に努め、事故はありませんでした。

#### カ 個人情報保護の体制及び取組について

事業所長は個人情報管理者を担い、事業所における適切な個人情報管理に関する取組みを推進する責務を負っております。事業所としての個人情報保護に関する基本方針や個人情報の利用目的について等を館内に掲示する等、事業所全体で個人情報保護の意識を高めました。定期的に個人情報漏えい事例の情報共有の機会を持ち、また個人情報漏えい防止チェックシートによる自己点検をし、その振り返りをしました。FAX送信は万が一間違っても、個人が特定されないようにマスキング加工し、個人のファイルは持ち出さない、個人携帯へのご利用者登録の禁止、仕事携帯電話にはキーロック設定するなど、職員各自が、忙しくても、その取扱いルールを守るという意識を高めるよう繰り返し注意喚起を行いました。しかし、FAXのご送信と封済みの請求書領収書の誤配布が各1件ありました。

#### キ 情報公開への取組について

9月と2月に運営協議会を開催し、事業実績報告をするとともに、地域の方々より事業運営について様々なご意見をいただきました。法人機関紙やケアプラザ広報紙を発行して情報発信するとともに、法人・区ホームページで、介護保険事業は介護サービス情報公表などを利用して、地域の皆様にわかりやすい方法で情報公開に努めました。当事業所が提供するサービスを安心してご利用できるよう理解と信頼を促進することを目的とした、法人の情報公開規程に基づいた情報公開に取り組んでおります。

#### ク 環境等への配慮及び取組について

生ごみ、プラゴミ等種類別にゴミを測量して、数値で示すことにより職員の減量化の意識を高めるよう取り組みました。

導入されている夜間電力利用熱交換システムや節水システム等を、有効に活用しました。今年度は夏の暑さが厳しくエアコンの節電はかなり厳しかったという印象です。

ペットボトルの回収や裏紙の再利用は引き続き取り組みました。

## 介護保険事業

### ● 介護予防支援事業

#### 《職員体制》

主任ケアマネジャー 1名(常勤 管理者兼務)  
看護師 1名(常勤) 3/1～  
社会福祉士 2名(常勤)  
ケアマネジャー 1名(非常勤)

#### 《目標（取組、達成状況）》

いつまでにどのような生活行為が出来るようになるか、具体的な目標を明確にしつつ、総合的かつ効果的な支援プランを作成し、介護予防サービスの提供を確保しながら、目標達成状況に応じて計画の見直しを行いました。

プラン作成にあたっては、医療サービスとの連携に十分配慮し、介護保険サービスのみならず、地域のインフォーマルサービス情報を積極的に取り入れた介護予防支援プランを作成しました。

#### 《実費負担（徴収する場合は項目ごとに記載）》

- 通常のサービス提供地域を越える地域の訪問・出張の際にはその旅費(実費)のご負担をお願いすることがあります。

#### 《その他（特徴的な取組、PR等）》

プラン作成にあたっては、他の職種との連携を図り、専門職の意見を聞いて行いました。法人内の弁護士・臨床心理士・医師等の専門職にも相談しやすい環境です。

#### 《利用者実績》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
148	143	144	148	151	143
10月	11月	12月	1月	2月	3月
141	143	139	138	134	130

● 居宅介護支援事業

《職員体制》

介護支援専門員	管理者（常勤兼務）	1名
	常勤専従	2名
	非常勤兼務	1名

《目標（取組、達成状況）》

1. 住み慣れた地域でその人らしく自立した生活を営むことを目標とし、ご利用者の意思を尊重し、心身や置かれている環境状況等に応じた、居宅サービス計画の作成に努めました。
2. サービス提供にあたっては、サービス種類や事業所に偏ることなく、また介護保険サービスのみならず、地域のインフォーマルサービス情報も情報提供してご利用者ご自身にあった、より良いサービスをご自身で選択できるように支援しました。

《実費負担（徴収する場合は項目ごとに記載）》

- 通常のサービス提供地域を超える地域への訪問・出張する際にはその旅費（実費）のご負担をお願いすることがあります。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

- ・ 近隣の居宅介護支援事業所と自主勉強会「丘の上倶楽部」での事例検討や最新のサービス動向把握、包括支援センター主任ケアマネジャーが中心となり「区役所ケースワーカーとの懇談会」「民生委員との懇談会」なども開催しました。ケアプラザの協力医も出席していただき、専門的な視点から助言等を多くいただきました。
- ・ 同法人内4か所の居宅介護支援事業所のケアマネジャーが、資質向上を目的とした制度改正の読み込みや情報交換、事例検討会等の研修など定期的会議の中で実施しました。法人内で弁護士や臨床心理士、医師等の専門職に相談することができ、自己研鑽の機会を持つことができました。今年度は定期的に新吉田地域ケアプラザ協力医も会議に出席していただき、専門的な視点から助言等を多くいただきました。
- ・ 担当地域にある、数多い福祉施設の違い等を地域の方々に情報提供、福祉施設の理解を深めることを目的として、地域の福祉施設見学会(第8回)を近隣の介護老人保健施設、同法人の地域ケアプラザと共催で平成28年3月12日(土)に開催し20名の地域住民の方が参加されました。

《利用者実績》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月□	5月	6月	7月	8月	9月
74	74	77	76	74	79
10月	11月	12月	1月	2月	3月
80	77	85	88	92	86

● 通所介護事業

《提供するサービス内容》

- サービス計画書の作成
- 介護サービス（送迎・入浴・昼食・機能訓練）
- 健康チェック（体温・血圧・一般状態の観察）
- 生活相談の助言・指導

《実費負担（徴収する項目ごとに記載）》

● 1割負担分

（要介護1）	710円
（要介護2）	838円
（要介護3）	969円
（要介護4）	1101円
（要介護5）	1233円

● 食費負担 750円

● 入浴介助加算（1割負担分） 54円

● キャンセル料金（食材費） 500円（利用当日キャンセルの場合）

※ その他、実費相当を徴収するものについては、各施設で項目を増やして記載をしてください。

《事業実施日数》 週 6日

《提供時間》 9:00 ~ 16:00（半角で入力 例 9:00~15:00）

《職員体制》

管理者	1名（常勤兼務）
生活相談員	3名（常勤兼務）
看護職員（機能訓練員兼務）	4名（常勤兼務1名 非常勤兼務3名）
介護職員	18名（常勤兼務3名 非常勤兼務15名）
送迎職員	7名（非常勤兼務）
事務職員	1名（非常勤兼務）

《目標（取組、達成状況）》

- ・ ゆったりとした自由な空間の中でご自身が楽しみを見つけられるように支援し、日常生活動作の1つ1つがリハビリと捉えて意識して残存機能の低下を防止しました。
- ・ 職員やお仲間と安心して過ごせる社会交流の場を提供しました。
- ・ 個別ニーズに沿った適切なサービス提供に努めました。
- ・ 食前の口腔周辺の体操や食後の口腔ケアの励行により、高齢者に多い誤嚥性の肺炎の発症防止に努めました。
- ・ 介護者の介護負担軽減に期するサービス提供に努めました。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

- ・ 入浴・排泄等の介助については同性介助をしております。
- ・ 曜日ごとにクラブ活動があり（手芸・書道・絵画など）楽しんで頂いています。

《利用者実績（延べ人数）》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
534	558	622	672	601	595
10月	11月	12月	1月	2月	3月
624	583	563	588	607	657

● 介護予防通所介護事業

《提供するサービス内容》

- サービス計画書の作成
- 介護サービス(送迎・入浴・昼食・機能訓練)
- 健康チェック(体温・血圧・一般状態の観察)
- 生活相談の助言・指導

《実費負担(徴収する項目ごとに記載)》

- 1割負担分
  - (要支援1) 1792円
  - (要支援2) 3672円
- 食費負担 750円
- キャンセル料(食材費) 500円

※ その他、実費相当を徴収するものについては、各施設で項目を増やして記載をしてください。

《事業実施日数》 週 6日

《提供時間》 10:00 ~ 15:00 (半角で入力 例 9:00~15:00)

《職員体制》

- 管理者 1名(常勤兼務)
- 生活相談員 3名(常勤兼務)
- 看護職員(機能訓練員兼務) 4名(常勤兼務1名 非常勤兼務3名)
- 介護職員 18名(常勤兼務3名 非常勤兼務15名)
- 送迎職員 7名(非常勤兼務)
- 事務職員 1名(非常勤兼務)

《目標(取組、達成状況)》

- ・ ゆったりとした自由な空間の中でご自身が楽しみを見つけられるように支援し、日常生活動作の1つ1つがリハビリと捉えて意識して残存機能の低下を防止しました。
- ・ 残された力で生活の喜びと自信を感じていただけるよう支援しました。
- ・ 職員やお仲間と安心して過ごせる社会交流の場を提供しました。
- ・ 個別ニーズに沿った適切なサービス提供に努めました。
- ・ 食前の口腔周辺の体操や食後の口腔ケアの励行により、高齢者に多い誤嚥性の肺炎の発症防止に努めました。
- ・ 介護者の介護負担軽減に期するサービス提供に努めました。

《その他(特徴的な取組、PR等)》

- ・ 入浴・排泄等の介助については同性介助をしております。
- ・ 曜日ごとにクラブ活動があり(手芸・書道・絵画など)楽しんで頂いています。

《利用者目標(契約者数)》

※ 単位は省略してください。 【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
89	76	67	65	64	62
10月	11月	12月	1月	2月	3月
56	53	50	42	42	47

## 地域ケアプラザ

### 1 総合相談（高齢者・こども・障害分野への対応）

広報紙を明るい見やすい内容に心がけ、ブログの最新の情報等情報発信の工夫に取り組みました。関係機関との連携により、対象幅広く相談等に応じることが出来ました。また、それが事業の充実に繋がりました。連合町内会の会合等町の様々な会議に積極的に参加して、地区の状況やニーズ把握、情報発信しました。

### 2 地域活動交流部門・地域包括支援センターの連携

地域活動交流部門、地域包括支援センターのそれぞれが把握した課題を共有し、地区活動や個別に対して必要なサービスに繋ぐなど適切な対応に心がけました。“料理”をきっかけに、定年退職後の男性を地域デビュー繋げる企画は、定員より多かった申し込み数や事後グループが立ち上がったという事から、効果的な取り組みであったと振り返りをしました。

### 3 職員体制・育成

地域包括支援センターの保健師職の欠員の中、他部門との連携を図り、業務が滞ることのないよう体制づくりとしましたが、業務の質の維持や新たな事業展開を仕掛けることに課題を残しました。欠員は年度末3月に充足しました。

### 4 地域福祉のネットワーク構築

地区の取り組み事業について、順調に活動が進むように積極的に協力関係を築き、必要な支援を行うことが出来ました。連合町内会や民生児童協議会等の会合へ積極的に参加することで、地区の情報把握や情報提供するとともに、様々方からのご相談に対応することが出来ました。

### 5 区行政との協働

第3期地域福祉保健計画では、日頃の地域支援から見える福祉保健の課題、それに対する解決策へのご提案など、サポートスタッフとして区職員、区社協職員とともにその役割を担う事が出来ました。



## 地域活動交流部門

### 1 福祉保健活動等に関する情報収集及び情報提供

地域福祉保健計画推進会議や地区社協が運営するボランティアセンター“やすらぎの家”の定例会議等地域福祉の会議に積極的に参加、また地域のボランティア団体の定例会議に参加しての定期的に情報収集を行いました。また、平成27年度は第3期ひっとプラン策定の年度であり、地域の方と一緒に地域の皆さまの福祉保健活動についての振り返りや今後の活動などについての助言を行いました。地区内のサロンや体操会にも積極的に出向き、運営して下さっているボランティアや委嘱員の方々との情報交換やケアプラザや行政が行っている事業の情報提供を行いました。

情報提供については毎月発行している広報紙“てっぺんひろば”の中では、ケアプラザの情報発信だけでなく地域の福祉保健活動情報の記事内容も充実するよう努めました。また、地域活動交流事業のホームページ、ブログ、Twitter、facebookを運用し、新鮮な地域情報発信に努めました。紙面の限られる広報誌から、読んでくださった方をブログに誘導できるよう工夫しました。

### 2 福祉保健活動団体等が活動する場の提供

デイサービスや自主事業への協力、また、サロン運営などの継続的な協力をしていただけるよう働きかけを行いました。趣味的な活動団体が活動計画の中に、福祉保健活動が取り入れてもらえるよう貸館団体登録の更新時などに会の代表の方などに働きかけを行いました。また、作品制作が多い団体の方にはケアプラザ内に展示する機会を持ってもらい共生まつりではたくさんの作品を展示して頂きましたが日常的な取り組みとしてはあまり充実させることが出来ませんでした。また、活動団体などの協力により地域向けの自主事業“丘の上音楽会”を年間4回開催いたしました。そして、デイサービスや近隣のグループホーム向けにバラエティーショー等を開催し、活動団体の活動の場の拡大をすることが出来ました。

### 3 自主企画事業

- |            |  |
|------------|--|
| 1.高齢者支援    | 転倒骨折予防教室「さわやかクラブ」・男の料理教室・<br>粋な男の健康講座  |
| 2.子育て支援    | 子育てフリースペース「はぐピョン」  |
| 3.障がい者支援   | 学齢期障がい児余暇支援（こうほくからふる・<br>こうほくなつとも）   |
| 4.ボランティア支援 | 体操ボランティア講習会・お話し会ワークショップ<br>盲導犬に会いに行こう  |
| 5.地域支援     | 丘の上の音楽会・丘の上の交流会<br>上手な花の育て方<br>生活のしづらさを考える「消費者トラブル」<br>倶楽部やまぼうし「春のあったかコンサート」 |
- 以上5本柱に沿った自主企画事業を企画し計画通りに実施いたしました。

#### 4 ボランティアの育成及びコーディネート

ボランティアの担い手不足が課題となっており、ケアプラザの自主企画事業としても「体操ボランティア講習会」「お話し会ワークショップ」等、ボランティア育成を目的とした事業を前年度に引き続き開催いたしました。今年度は講座参加者を数名ずつですが、新たなボランティアの担い手として、活動を開始していただくことが出来たことは、講座の効果があつたと振り返りをいたしました。また、ボランティア育成を目的とした講座以外でも、ボランティア募集をしている告知を行ったり、ブログなどの広報媒体でもボランティア募集の情報発信を行いました。

その他、男性向け講座の参加者をその後サークル活動へ発展させるために参加者がボランティアスタッフとして活躍して下さったことも、講座と講座中の働きかけが効果があつたと感じています。また、子育てフリースペースはぐピョンに参加している親子に声をかけて、はぐピョンを支える裏方スタッフとしてお誕生日カードなどの作成を協力してもらったりするなど、ボランティア活動を開始するきっかけ作りも順調に行えていると感じます。

## 地域包括支援センター

### 1 総合相談・支援

#### 総合相談

地域への周知活動の強化に努めるためにも、毎月民生委員児童委員定例会に出席しています。地域のサロンはじめやすらぎの家等にも出来る限り顔を出すことにより、直接の相談や問い合わせ件数も増えています。また、広報誌の中の包括コーナーでは、介護保険や医療情報を地域に向けて発信しました。地域の方が相談しやすい環境づくりに努めています。相談や介護保険申請があった際には、時期をみながらフォローをし、適切な機関や制度・サービスに繋がるよう、継続的に支援しています。緊急対応や困難ケースについても利用者の背景を理解し、必要に応じて区役所や関係機関との連携を図りました。

#### 地域包括支援ネットワークの構築

各地区のパイプ役を積極的に担い、2地区全体のネットワーク構築を目指しました。ボランティア連絡会を通して、ボランティアの横のつながりの強化、ボランティア団体と地域のケアマネジャーとの連携に努めました。徘徊高齢者ネットワーク“さがしてネット”のメール配信も定期的に行いました。また、新吉田あすなろ地区・新吉田地区による合同模擬訓練も実施しました。また、この地区の特色である地域の中に数多くある福祉施設と医療機関の方々が繋がる取り組みを実施しました。

#### 実態把握

地域の集まりへの参加や個別の訪問、また一人暮らし見守り事業の情報について民生委員や地域の方と連携し、地域の課題を把握する努力をしました。見つけられた課題についてはケアプラザ全体で共有し、各事業に反映させるよう努めました。

## 2 権利擁護

### 権利擁護

地域の方の消費者被害や振り込め詐欺被害の防止に向けて、事例の周知や相談を受けました。また、成年後見制度や人権についての相談を受け、必要に応じて関係機関への橋渡し役を担いました。地域で成年後見制度や高齢期のお金に関する講座等を開催し、権利擁護の視点を貫いた支援に努めました。行政書士無料相談会を開催し、遺言や相続も含めた相談の支援をしました。成年後見制度などの研修に積極的に参加し、相談業務に活用しました。

### 高齢者虐待

日頃から地域住民、地域関係団体、居宅介護支援事業所との連携を図り、相談・通報しやすい関係の構築をつくり、早期発見・早期対応に努めました。地域住民への高齢者虐待防止の理解を深める広報・啓発活動を行いました。虐待の相談を受けた際は区へ報告、調査、役割分担を確認して速やかな対応に努めました。また、継続的に支援を行い、再発防止に努めました。高齢者虐待防止連絡会に参加して、事例検討等とおして個別の具体的な介入方法や予防のための見守り活動等の理解を深めました。

### 認知症

老人会や地域のサロにンへ出向き、認知症サポーター養成講座や認知症の講話会を開催し、認知症への理解を深めることに努めました。今年度も介護者のつどいを定期開催し、介護者同士の交流の場を設け、専門職としてアドバイスできる機会を持ちました。認知症徘徊ネットワーク“さがしてネット”メール登録の拡大普及に努めました。キャラバンメイトのつどいも開催しました。

## 3 介護予防マネジメント

### 二次予防対象者把握

日々の相談業務や自主事業、老人会や体操会やサロン、民児協等地域の集まりに積極的に出向く等をして、対象者の把握に努めました。新羽地域ケアプラザとの共催で、ロコモ予防講座を開催しました。また、男性高齢者等を対象とした介護予防講座、粋な男の健康講座を8回シリーズで開催し、対象者の把握に努めました。

### 介護予防ケアマネジメント力

利用者の方の持っている能力や思いなどその方の特性をふまえた生活機能向上の目標を設定し、様々な専門家の意見を取り入れる機会を持ち、適切なサービスの選択を支援しました。

その方とサービス提供者による目標の共有により、その方が主体的にサービス利用できるように進めました。一定の期間で適切に評価し、必要に応じてプランの見直しをする目標指向型プラン作成に努めました。

地域のケアマネジャーを対象に、介護予防プランの作り方の勉強会を開催しました。

#### 4 包括的・継続的ケアマネジメント支援

##### 地域住民、関係機関等との連携推進支援

民生委員児童委員定例会に定期的に参加しました。また、老人会や地域のサロンにも出来る限り参加しました。特養等地域に数多くある福祉施設と手をつないで開かれた施設作りをしていきました。小規模多機能ホーム・グループホームや老人保健施設の運営推進会議に参加することにより、施設と地域の橋渡しをするとともにさらに緊密な地域ネットワーク化を目指しました。また、保健活動推進委員と共催で介護保険・認知症予防講座などを開くことで、相談窓口としてさらにPRして参りました。

さがしてネットの拡充をはかると同時に、認知症サポーター養成することで、地域に認知症の理解を広め、地域の見守りネットワーク構築に努めました。民生委員児童委員と地域のケアマネジャーとの交流会も開催しました。

##### 医療・介護の連携推進支援

区・区内包括・ガンバ港北共催によるケアマネジャー対象の合同研修として、「制度改正・日常生活支援総合事業について」「災害時の対応について」を開催しました。医師会やガンバ港北と打ち合わせしながら、地域ケアカンファを使った医療介護連携に努めました。地域ケア会議を通して医師、看護師、民生委員、サービス提供事業所、地域の方々との顔の見える関係づくりに努めました。

##### ケアマネジャー支援

区内包括合同の企画としては、「在宅での看取りパートⅠ～Ⅲ(計3回)」「訪問看護ステーションとケアマネジャーとの懇談会」「MSWとケアマネジャーとの懇談会」「介護保険外サービス」「生活保護制度・生活困窮者自立支援法について学ぶ」等、ケアプラン立案に有益な講座を組みました。新任ケアマネ向け講座として「行政サービスについて」の講座を組み、ケアマネジャーの質の向上を目的とした研修を行いました。

今年度はインフォーマルサービスやMSWアピールシートなどの地域情報の更新・編集を行い、ケアマネジャーに配布しました。地域のケアマネジャーを対象に、「成年後見制度」「地区担当生保ワーカーとケアマネジャーとの懇談会」「地区担当ワーカーとケアマネジャーとの懇談会」「介護予防プランの作り方」「民生委員児童委員とケアマネジャーとの交流会」を開催し、顔の見える関係づくりとケアマネジャーの質の向上を目的とした研修を実施しました。

##### 多職種協働による地域包括支援ネットワーク

今年度は、個別ケース地域ケア会議を2回開催しました。地域ケア会議には、医師、看護師、民生委員、地域住民、企業、インフォーマル関係者、サービス事業所、区職員等が集まり、個別の事例を通して地域包括ネットワークの構築に努めました。

## 介護予防事業

### 介護予防事業

保健活動推進委員との共催の認知症講座を開催し、老人会や地域のサロンや体操会へ出向き、認知症について理解を深める介護予防講座をケアプラザ協力医とともに、数多く実施しました。

新羽ケアプラザと共催のロコモ予防講座（5回シリーズ）、男性を対象とした粋な男の健康講座（8回シリーズ）、男の料理教室（3回シリーズ）を開催し、介護予防普及啓発に取り組みました。地域の体操会、ボランティア養成講座を開催しました。

地域の体操会やサロンに伺いその活動を支援しました。

既存の元気づくりステーションに定期的に伺いその活動を支援しました。

## その他

広報紙を5月よりカラー版とし、明るく見やすい内容とし、ブログでの最新情報の発信等、情報発信の工夫に努め、ケアプラザの機能周知に取り組みました。事業のチラシ等、医療機関や薬局、コンビニ等に配布掲示依頼に努めました。毎回100人位の地域の方が集まる丘の上音楽会や自主企画事業の開催時に、ケアプラザの機能を説明する時間を設けました。

体操ボランティア養成講座の参加者から地域の体操会のボランティア活動に繋がりました。

# 平成27年度 地域ケアプラザ収支報告書

施設名：新吉田地域ケアプラザ

平成27年4月1日～平成28年3月31日  
(単位：千円)

	科目	地域活動交流	地域包括支援センター			居宅介護支援	通所介護	予防通所介護
			包括的支援	介護予防事業	介護予防支援			
収入	指定管理料等収入	15,850	22,491	149				
	介護保険収入				8,539	13,384	54,727	2,749
	その他							
	修繕費	474	126					
	運営協議会経費	41						
	追加修繕費	980						
	協力医謝金		756					
	その他		358					
	利用者負担金/食費収入						13,874	
	認定調査委託料					221		
	利用者等外食収入						1,058	
	車両売却収入						37	
	退職給付引当資産取崩収入						678	
	雑収入/受取利息						176	
<b>収入合計(A)</b>	<b>17,345</b>	<b>23,731</b>	<b>149</b>	<b>8,539</b>	<b>13,605</b>	<b>70,550</b>	<b>2,749</b>	
支出	人件費	10,467	18,158		1,859	11,976	50,091	
	事務費	1,678	2,065		400	1,275	4,917	
	事業費	267	23	166			7,129	
	管理費	3,047	810				4,616	
	その他							
	他事業委託料				4,628			
	消費税	837						
	修繕費	474	126					
	運営協議会経費	12						
	追加修繕	997						
	利用者等外給食費支出						1,112	
	戻入金		5,003					
	退職給付引当資産支出						890	
	協力医謝金		756					
その他	616	358						
<b>支出合計(B)</b>	<b>18,395</b>	<b>27,299</b>	<b>166</b>	<b>6,887</b>	<b>13,251</b>	<b>68,755</b>		
<b>収支 (A) - (B)</b>	<b>-1,050</b>	<b>-3,568</b>	<b>-17</b>	<b>1,652</b>	<b>354</b>	<b>4,544</b>		

※ 介護予防プランを他事業者へ委託する場合の取扱は、介護報酬を一旦全額収入に計上した後、他事業者へ委託料として支払う分を支出に計上してください。

※ 上記以外の事業(認知症対応型通所介護等の事業)を実施している場合は、事業ごとに列を増やして同じように記載をしてください。

※精算書をベースに作成してください。